

江田島市

社協だより



第8号

2008年（平成20年）8月1日発行
発行／社会福祉法人

江田島市社会福祉協議会

〒737-2302

広島県江田島市能美町鹿川12060番地
（能美福祉センター内）

本 所 ☎（0823）40-2501

江田島支所 ☎（0823）42-1287

沖美支所 ☎（0823）47-1500

大柿支所 ☎（0823）57-6800

地域における「新たな支え合い」を求めて

～小地域福祉活動推進事業モデル地区（中町地区・三高地区）での取り組みスタート～

近年、人間関係、社会関係の希薄さから住民の孤立化が進み、ささいな生活課題を解決できず、困っている人達が増えています。昔は貧しいながらも、皆で支えあって生活していましたが、今はそういうことが難しい時代です。豊かさの代償として失われた近隣同士の助け合いを見直し、「新たな支えあい」を模索する時代になってきたのかも知れません。

このことから江田島市社協では、能美町中町地区と沖美町三高地区をモデル地区に指定し、一つの課題から出発するのではなく、「地域ではどんなことに困っているのか？」「地域全体で何ができるのか？」調査し、それをもとに、地域のみなさんと一緒に考え、助け合い活動を実施していく取り組みをスタートしました。

今後は、モデル地区を対象に住民アンケートや地域懇談会を実施していく予定です。「住み慣れた我が家でいつまでも暮らす」を目指し、小地域福祉活動推進事業にご理解、ご協力をお願いします。



7月7日 中町地区連絡会



7月10日 三高地区連絡会

●● 地域福祉係からお知らせ ●●

『ボランティア活動』 『しおかぜネット活動』 『ふれあい・いきいきサロン』
『しおかぜ通信作成』 『社会福祉協力校活動』 『赤い羽根共同募金運動』
その他、地域での福祉活動や心配ごと相談についての連絡先が変更になりました。
お気軽にご相談ください。

【電話】 42-1287（社協 江田島支所）

【担当】 宇根・尾城・河内

平成19年度事業報告と決算が5月28日の理事会で認定、評議員会で承認されました。

事業報告の概要

平成19年度は、本会の将来的事業推進の指針とするため「地域福祉活動計画」を策定し、その計画に沿って各事業を推進してきました。また、行政からの補助金が減額される中、組織、各事業等の見直しを図るため、「経営改革推進本部」を立ち上げました。そんな中で各事業とも質の向上、サービスの合理化の両面に

おいて検討を加えるとともに、効率的な事業運営に努め、概ね順調に遂行することができました。

まず、地域福祉事業においては、小地域での福祉活動を推進するため、「地区社協」「ふれあいサロン」「地域まるごと福祉教育」の育成に努めるとともに「えがおえたじま応援センター」、「しおかぜネット」の拡充を図ってきました。また、地域住民の権利擁護を推進するため「法人による成年後見」にも積極的に

一般会計資金収支計算書

単位：千円

科 目	予算額	決算額	科 目	予算額	決算額
会費収入	2,860	3,007	人件費支出	258,000	243,706
寄付金収入	3,000	3,071	事務費支出	30,453	25,253
経常経費補助金収入	35,400	35,404	事業費支出	41,993	36,457
助成金収入	2,968	2,657	利用者負担軽減額	570	4
受託金収入	20,871	20,688	貸付事業等支出	14,500	5,866
事業収入	2,096	1,051	助成金支出	8,224	8,092
貸付事業等収入	14,500	7,283	負担金支出	100	56
共同募金配分金収入	6,111	6,109	経理区分間繰入金支出	13,887	13,879
負担金収入	1,128	1,335	施設整備等支出	1,752	1,751
介護保険収入	214,882	212,035	財務支出	14,076	14,053
（居宅介護支援事業）	（44,480）	（39,357）	当期支出計	383,555	349,117
（訪問介護事業）	（71,800）	（59,151）	予備費	105	0
（通所介護事業）	（67,602）	（82,493）	当期末支払資金残高	65,700	84,579
（福祉用具貸与事業）	（31,000）	（31,034）	合 計	449,360	433,696
自立支援費収入	12,450	10,794			
雑収入	622	745			
受取利息配当金収入	180	362			
会計単位間繰入金収入	310	309			
経理区分間繰入金収入	13,860	13,879			
施設整備等収入	1,433	1,431			
財務収入	35,959	27,772			
当期収入計	368,630	347,932			
前期末支払資金残高	80,730	85,764			
合 計	449,360	433,696			

次に、介護保険サービス事業は、職員を各種研修会に積極的に参加させ資質向上、サービス向上に努めました。また、「改正介護保険制度」の影響もあり、訪問介護、居宅介護支援事業が、初めて赤字となりました。しかし、通所介護事業（能美・大柿事業所）が増益となったので、介護保険事業全体では前年度とほぼ同等の収入を確保することができました。

障害者福祉事業については、障害者相談支援センター（市からの委託）において障害者からの各種の相談に積極的に対応してまいりました。また、小規模作業所「友々ハウス」を社協の事業所として、精神障害者小規模通所授産施設

「あおぞら」と統合し、平成20年度から新たに「自立支援センターあおぞら」として事業を開始することとしました。

決算のあらまし

平成19年度は、前年度と同様、一般会計が市の財政状況による補助金削減・介護保険制度の改正等の影響を受け資金が減少した決算となりました。

一般会計

当期収入は、市補助金・介護保険収入等合計3億4,793万2千円で、当期支出は人件費支出・事業費支出等合計3億4,911万7千円となりました。

当期収入から当期支出を引いた当期収支差額は、2年続けてマイナスとなりました。そのため、当期末支払資金残高は1億1,855万5千円減少し、4億5,799千円となりました。その内、国民健康保険団体連合会からの介護報酬が3月遅れとなるため必要な介護保険事業の運転資金約6,000万円を引いた実質の繰越金は2,457万9千円となりました。資金収支計算書については、上記のとおりです。

精神障害者小規模通所授産施設 あおぞら特別会計事業活動収支計算書

単位：千円

科 目	本年度決算額	前年度決算額	増 減
授産事業収入	5,325	4,199	1,126
（灯ろう作り事業収入）	（3,552）	（2,718）	834
（貝殻通し事業収入）	（360）	（666）	△306
（小物作りバザー事業収入）	（1,413）	（815）	△598
措置費収入	500	500	0
運営費収入	10,000	10,500	△500
私的契約利用料収入	491	373	118
寄付金収入	235	299	△64
雑収入	4	32	△28
借入金元金償還補助金収入	2,970	2,970	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	3,385	2,127	1,258
事業活動外収入	260	283	△23
特別収入	7,124	2,294	4,830
前期繰越活動収支差額	10,674	6,100	4,574
合 計	40,968	29,677	11,291
授産事業支出	5,325	4,199	1,126
人件費支出	8,508	8,473	35
事務費支出	4,494	2,605	1,889
減価償却費	3,492	3,116	376
事業活動外支出	523	610	△87
特別支出	7,124	0	7,124
その他の積立金積立額	0	0	0
次期繰越活動収支差額	11,502	10,674	828
合 計	40,968	29,677	11,291

あおぞら特別会計

精神障害者小規模通所授産施設

この特別会計は、大柿町の大原にある授産施設「あおぞら」の運営に係る会計です。運営費収入の主なものの補助金（市・県・国）は補助基準額が改定したため、前年と比較して50万円減収となりました。また、授産事業収入（灯ろう作り・貝殻通しなど）については、市民の皆様の御協力により、前年度と比較して1億1,291万6千円増収の5億3,291万5千円となりました。

事業活動収支計算書（損益計算書）については、次のとおりです。

平成20年度事業計画と予算が3月27日の理事会で同意、評議員会で議決されました。

事業計画の概要

基本計画

社会情勢は、少子高齢化、総人口の減少、地方の過疎化の急激な進行、行政の財政難など厳しさを増しており、地域社会を取り巻く環境は劇的な変化を遂げている。これは江田島市にとっても例外ではなく、今後の地域福祉のあり方に大きな影響を及ぼしてくるものと思われまます。

このような状況の中で、さまざまな生活課題を抱える地域住民を支えるための地域福祉活動はますます重要となり、本会は、その中核を担っていく必要があります。本年度は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」、「介護保険事業、障害者自立支援事業等のサービスを提供する事業者」

として、公助・共助・自助のバランスを取りながら平成19年度策定した地域福祉活動計画に沿った事業を推進していきます。

また、行政からの補助金などの確保が厳しくなっている中、中長期的展望に立ち、事業・組織・財源などの経営の全般を見直し、経営基盤の充実と強化を図り、自立した社協をめざすことを目的とし、昨年度立ち上げた経営改革推進本部において経営改革を進めてまいります。

これらのことを踏まえ、地域福祉の推進役としてその使命を意識し、住民参加による地域福祉の推進を充実することに視点をおきながら地域福祉の向上と増進をめざします。

以上を基本方針として、平成20年度の活動を進めてまいります。

具体的な事業

- 地域みんなで助け合い（共助）**
 - えがおえたじま応援センター
 - ふれあい・いきいきサロン事業
 - しおかぜネット
 - 小地域福祉活動推進事業（市からの新規委託事業）
 - 住民みんなでまちづくり（自助）
 - 地区社協の育成
 - 地域まるごと福祉教育事業
 - 災害に負けないまちづくり
- 介護サービス事業**
 - 介護サービス事業
 - 居宅介護支援事業
 - 訪問介護事業
 - 通所介護事業
 - 福祉用具貸与事業
- 総合相談事業**
 - 心配ごと相談事業
 - 各種支援センター事業
- 5 権利擁護事業**
 - 福祉サービス利用援助事業「かけはし」
 - 法人による成年後見の受任
- 6 障害者支援事業**
 - 就労継続支援事業（B型）
 - 自立支援センターあおぞらの経営（自立支援センターあおぞらの経営）
 - 障害者生活相談支援事業
 - 障害者生活相談支援事業
 - 介護給付事業（居宅介護、重度訪問介護）
- 7 経営改革推進本部による経営改革の推進**
 - 地域福祉の推進を目的とする団体の使命達成のため組織・財政・事務局体制の整備と市社協職員の意識改革を図ることを目指す。
- 8 その他の事業**
 - 自立支援型グループホームを指定管理者として運営
 - 配食サービス（配送）の受託
 - 貸付事業の実施
 - 共同募金活動
 - その他福祉を目的とする事業

一般会計予算の事業別内訳

事業区分	予算額
法人運営事業	59,397千円
共同募金配分金事業	5,765千円
地域福祉事業	22,265千円
老人福祉対策事業	4,382千円
グループホーム事業	7,104千円
居宅介護支援事業	63,795千円
訪問介護事業	85,583千円
通所介護事業	104,635千円
福祉用具貸与事業	35,388千円
基金運営事業	167千円
資金貸付事業	16,500千円
退職金積立事業	4,880千円
合計	4億986万1千円

※支払資金残高を含む

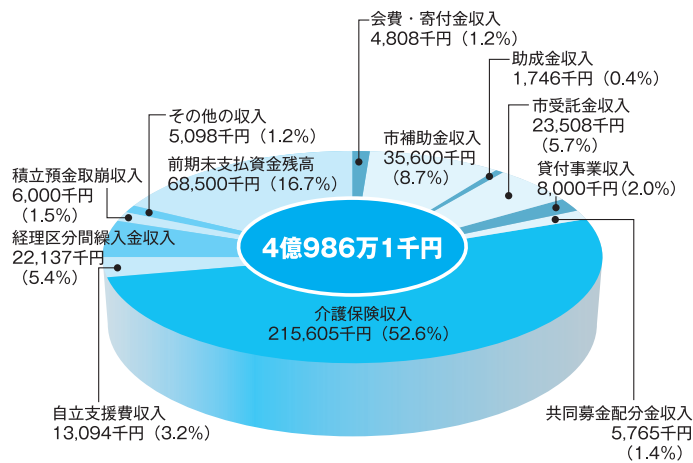
自立支援センター

あおぞら特別会計予算の内訳

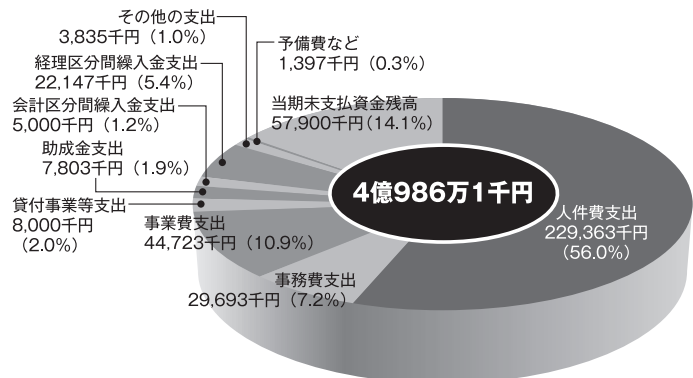
就労支援事業収入	5,700千円
私的契約利用料収入	450千円
自立支援費収入	24,792千円
寄付金収入	200千円
借入金利息補助金収入	179千円
受取利息配当金収入	1千円
会計単位間繰入金収入	5,000千円
借入金元金償還補助収入	2,970千円
前期末支払資金残高	11,904千円
収入合計	5,119万6千円
就労支援事業支出	5,700千円
人件費支出	19,670千円
事務費支出	4,391千円
借入金利息支出	179千円
固定資産取得支出	723千円
会計単位間繰入金支出	620千円
借入金元金償還金支出	2,970千円
予備費	39千円
当期末支払資金残高	16,904千円
支出合計	5,119万6千円

一般会計予算の内訳

一般会計収入



一般会計支出



平成20年度予算のあらまし

賛助会費にご協力お願いします

社会福祉協議会（社協）は、住民が主体となり、関係機関・団体と協力しながら「だれもが住みよい福祉のまちづくり」を進めていく民間の福祉団体です。

公的な施策だけでは対応しきれない地域福祉活動に取り組むため、市民の皆様や団体・企業などに会費によるご協力をお願いしております。

賛助会費は、特に本会の社会福祉事業に賛同し、ご協力していただける個人・企業・団体にお願しております。



Q 会費ってどんなことに使われるの？

この会費は全額、地域福祉活動・ボランティア活動の財源として活用させていただきます。

Q 会費の種類と金額は？

★賛助会費

年間1口 1,000円

(何口でも結構です)

★一般会費

年間1世帯 200円以上

Q 会費の納め方は？

★賛助会費

8月～9月を強化月間として、社協職員がご協力をお願いにうかがいます。また、年間を通して社協の本所・各支所でも受け付けております。

★一般会費

自治会を通してお願いしております。(地区によってお願いする時期が異なる場合があります)

訂正とお詫び

「江田島市社協だより」第7号中で、ご協力いただいた賛助会員の名前が記載されていませんでした。訂正してお詫びします。

なお、勝手ながら敬称は省略させていただきますました。

【本所】

猪垣 勝子

【大柿支所】

後 昭十三

久保本 守

合野 健治

山藤 正徳

長岡 一三

眞澤 成子

こんな心配ありませんか？

◆日常的な金銭管理に不安がある
身体が不自由等で金融機関にいけない

◆将来認知症になったらどうしよう…
財産とか、お葬式のが心配

◆自分が亡くなったあと障害のある
子供の将来に不安がある

◆高齢の母親が不必要だと思われる商品
を次々と購入してくるので心配

◆成年後見制度の内容や手続き方法について知りたい



そんなときは、**社協へご相談ください**

成年後見・福祉サービス利用援助事業

自分で金銭や大切な書類を管理することに不安のある高齢者や障害者等の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるように支援する制度です。

詳しくは社協までお問い合わせください。

電話 40-2501



自立支援センターあおぞら活動報告

平成20年4月1日から、「精神障害者小規模通所授産施設あおぞら」と、「小規模作業所友々ハウス」が一緒になって1つの事業所「自立支援センターあおぞら」として活動を開始しています。

盆灯籠の製作

色とりどりの色彩でお盆の墓地を華やかに彩る盆灯籠の製作は、7月から8月が最繁忙期です。

この灯籠は、就労継続支援事業の一環として製作・販売しています。一本一本の灯籠にはあおぞら利用者の想いが込められています。

購入ご希望の方は、気軽にお問い合わせください。

- ◆注文受付 8月8日(金) 締切
- ◆販売価格 1本400〜500円
- ◆電話番号 40-3501



アルミ缶の回収

あおぞらでは、アルミ缶の回収活動を行なっており、昨年度末には空き缶(アルミ缶)プレス機を県の補助事業で整備しました。

回収活動によって得た収益は、障害者の自立支援に向けての貴重な活動財源となっています。

限りある資源を有効に活用するために、皆様のご協力をお願い致します。



地域まるごと福祉教育推進校 社会福祉協力校

地域のみなさんと共同清掃作業

平成20年7月4日(金)、切串の海の玄関である棧橋周りの清掃を、切串小学校・切串中学校・地域の方々と一緒に行ないました。参加者は切串小学校に集合し、最初に切串中学校生徒会から、「切串の玄関口である棧橋をみんなで綺麗にして、外から来るお客様を気持ちよく迎えできるようにしましょう！」と挨拶がありました。



「頑張りましょう！」の掛け声で、全員が大きな声で「オー！」地域のみなさん、小学生、中学生、教職員みんなで力をあわせて棧橋の掃除に取り掛かり、暑い最中みんな汗だくになって大変でしたが、船から下りてきた方からの「ご苦労さま」の声が励みになりました。すっかり綺麗になって作業終了。昨年参加された方からは「今年はおゴミがすくないね」との感想。地域での日頃からのゴミに対する気配りやマナーが守られているのですね。

まごころ

たくさんのご寄付ありがとうございました。
お寄せいただいたご寄付は、福祉まちづくり
推進のため、有効に活用させていただきます。

(平成20年2月1日～平成20年6月30日受付分)

※本会への寄付金については、所得税法による寄付金控除の措置があります。
なお、勝手ながら敬称は省略させていただきます。

【本所受付分】

香典返し
高田 小船美代子
鹿川 石田 辰也
三吉 小松美知子
中町 谷口 義人

その他寄付

中町 柳田 政見
三吉 匿名希望
高田 匿名希望
高祖 沖井寿美恵
広島建設労働組合能美支部

江田島市チャリティーゴルフ大会実行委員会（障害者支援事業寄付金として）

高田 匿名希望

【江田島支所分】

香典返し

秋月 鎌田 勝士
小用 中野 数枝

その他寄付

市役所・江田島支所
代表 吉野 伸康

【沖美支所受付分】

香典返し
美能 山本 勇二
広島市 島本 隆
是長 松口 鈴子

その他寄付

第一・第二コスモス会

【大柿支所受付分】

香典返し
飛渡瀬 小尻 一芳
深江 石崎 節子
大原 原田恵美子
大原 山口 康治
柿浦 二本松 碧
大君 平本 淳一

その他寄付

江田島地区保護司会

自立支援センターあおぞらにご寄付ありがとうございました。

お寄せいただいたご寄付は、障害者福祉のために有効に活用させていただきます。
(敬称略、順序不同)

大柿町飛渡瀬 妙覚寺仏教婦人会
江田島地区民生委員児童委員協議会
三原市宗郷 平井 ひとみ
大柿町深江 宗頭寺仏教婦人会

障害者生活支援センターからお知らせ

◆ふくし・かいて巡回相談

障害のある方や高齢者のあらゆる相談を、毎月身近な地域でおこなっています。

8月15日(金) 大柿公民館(午後2時～4時)
8月20日(水) 小用老人集会所(午後2時～4時)

※9月以降の日程は、しおかせ通信に掲載いたします。

【お問い合わせ先】

障害者生活支援センター ☎57-2215
地域包括支援センター ☎40-3571

◆障害のある方々のための職業訓練募集案内

広島障害者職業能力開発校では、障害者の方の就職支援対策の一環として、民間教育訓練機関（専門学校等）にてパソコンや介護福祉等の委託訓練を実施します。

【応募方法】

最寄りのハローワーク（公共職業安定所）に置いてある応募用紙に記入して、窓口に出してください。（写真が一枚必要です。タテ4cm×ヨコ3cm）

ただし、精神障害者の方を対象とした訓練に応募される場合は、主治医の意見書（3ヶ月以内のもの）を併せて提出してください。

【入校選考】

職業適性検査および面接にて選考を行います。訓練職種により募集期間・選考日時・場所が異なりますので、詳しくはお近くのハローワーク又は広島障害者職業能力開発校にお問い合わせください。

【受講費用】

受講料は無料ですが、テキスト代として別途必要です。（訓練職種により異なります。）

【お問い合わせ先】

広島障害者職業能力開発校
広島市南区宇品東4丁目1番23号
電話（082）254-1766

やすらぎ近況報告

自立支援型グループホーム「やすらぎ」（能美町鹿川）は、自立または要支援と認定された高齢者及びひとり暮らし等で、在宅で独立した生活が困難な高齢者等の方々の施設です。それぞれの生活歴は違いますが、お互い助け合いながら生活しています。



大柿老人福祉センターにAED設置

センター来館者や近隣の方々がある突然の不慮の事故などの場合には、即座に活用できるように、大柿老人福祉センターと能美福祉センターにAED（自動体外式除細動器）を設置致しました。

AEDとは、心停止による突然死の原因とされる「心室細動」などに対して、体外から電気的な刺激（電氣的除細動）を与える事により心拍の正しいリズムを取り戻すという装置です。

社協職員人事

今田 京子 退職Ⅱ（旧）沖美支所長
平成20年3月31日付